

ため池ハザードマップについて

阿波市では、今後発生が予測される東海・東南海・南海地震等の地震や、近年多発する豪雨により発生するため池の被害を想定し、ため池の決壊による浸水被害想定を分かりやすく住民の皆様に提供するため、ため池ハザードマップを作成しました。

日頃からため池の決壊による災害に備え、ご家族やご近所の皆様で対応について話し合い、避難場所までの危険箇所について確認し、避難の方法や家から避難場所までの経路を確認し、災害時の避難対策に役立てていただくよう、お願ひいたします。

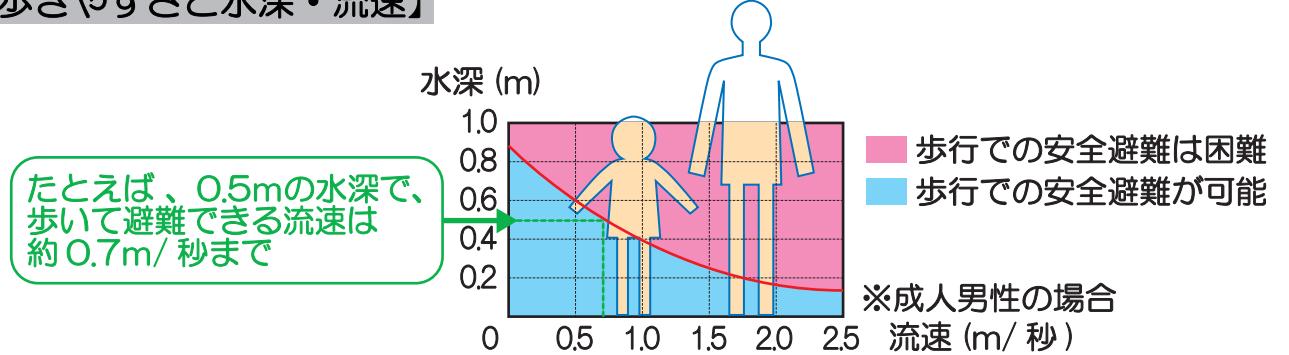
目 次

●ため池ハザードマップについて	1
●ため池氾濫の特徴	2
●避難の心得、指定避難所一覧	3~4
●阿波市ため池一覧	5
●ハザードマップの見方	6
●阿波市ため池ハザードマップ索引図	7~8
●ため池ハザードマップ	9~38
●災害時緊急連絡先	裏表紙

ため池氾濫の特徴

- 氾濫する水量は、ため池の貯水量のみであるため、窪地でない限り水はすぐに引き、長時間の浸水はありません。
- しかし、ため池の水が一気に流れ出すため、直下では急激な氾濫流により、建物の倒壊や人が流されるなどの被害が発生するおそれがあります。
- 氾濫流速が毎秒 1.5m（時速 5.4km：早歩き程度の速さ）以上になれば、避難が不可能であると言われています。

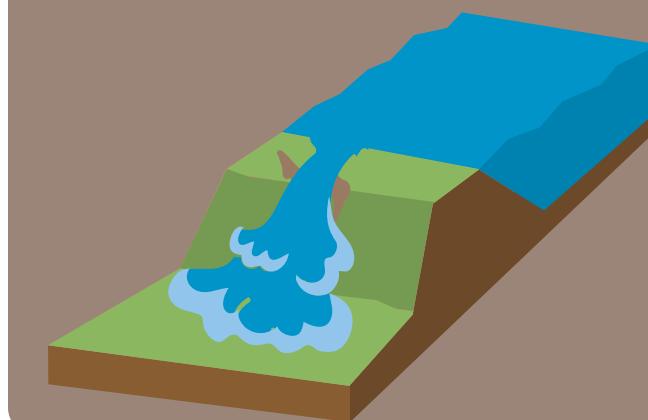
【歩きやすさと水深・流速】



こんなときは要注意！

大雨のとき

大雨のとき、ため池の水位が上昇し、堤防をのり越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



大地震のとき

大地震の時に、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊に到ることがありますので注意が必要です。

